

👉 決算とは、その年の三田市の活動をお金を通してみるものです

確かに、元年度の決算はこれまでの取り組みの甲斐があって、とても良好だね。でもこの状況を保つことが大切なんだよ！

そのためには、「現在」だけでなく「これから」のことも考えておかないとね。今回の決算の状況とあわせて、これからのお金の使い方についてみてみよう！



元年度の市の決算は

- 一般会計は黒字でした
- 借金は減りました
- 貯金は増えました

決算は、お金の出入りだけじゃなく、貯金・借金の残高の動きもあわせてみるんだよね！だったら、元年度の決算は全部良くなってから、これで安心だね！



特別一般会計

三田市の お財布事情

令和元年度決算見込みの概要 + α これからのお金の話

※令和元年度決算見込みは9月の定例市議会に提出し、予算決算常任委員会で審議されます。



Q. 今回の決算も黒字だったの？

A. 一般会計と特別会計をあわせて10.7億円の黒字でした

会計名	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(C=A-B)	翌年度に繰り越すべき財源(D)	実質収支額(C-D)
一般会計	378億2686万円	371億7303万円	6億5383万円	7208万円	5億8175万円
特別会計(*)	199億9973万円	195億1301万円	4億8672万円	0円	4億8672万円
合計	578億2659万円	566億8604万円	11億4055万円	7208万円	10億6847万円

*対象事業が限定されている次の6つの会計…国民健康保険、農業共済、公営墓地整備、駐車場、介護保険、後期高齢者医療

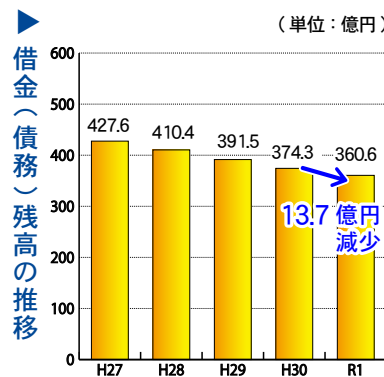
Q. 借金はいくら減ったの？

A. 借金は13.7億円減りました



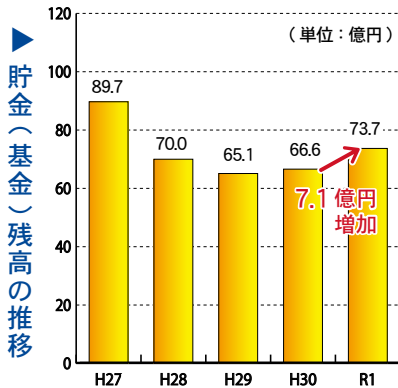
順調に減っているね。借金が増えることはないのかな？

小学校や幼稚園への空調設置などのために新たな借金もしましたが、ニュータウン開発に伴う公共施設の整備などのための借金について返済が進み、残高は30年度末と比べて13.7億円減少しました。



Q. 貯金はいくら増えたの？

A. 貯金は7.1億円増えました



■ 収入に見合った支出となるよう取り組んだこと(元年度)

- ・市長・市職員の給与、議員報酬などの削減
- ・補助金の整理・合理化
- ・各事業の見直しや事務の効率化によるコストの削減
- ・企業会計に対する負担の減少

収入に見合った支出となるよう取り組み、貯金(基金)に頼らないお金の使い方を進めた結果、昨年度に引き続き、貯金残高を増やすことができ、コロナの影響にも対応することができています。

貯金を増やすことができていたから、コロナにも対応できたのね。貯金がなかったら、大変なことになっていたわね。



市民病院事業

	収益的収支(税抜)	資本的収支(税込)
	主に医療行為等による収入と病院の維持管理経費等を中心としたお金	医療機器の更新や病院施設の建設改良経費等を中心としたお金
収入	88億779万円 (入院・外来診療費など)	9億505万円 (一般会計補助金など)
支出	87億8,177万円 (人件費・診療材料費など)	13億6,305万円 (医療機器の更新など)
差引	2,602万円	△4億5,800万円

令和元年度は、救急診療の維持、地域医療連携の推進などを組織目標として掲げて取り組みを行った結果、3年連続の黒字となりました。

また、療養環境の改善を図るため空調機能の一部更新や災害時の医療提供体制を考慮した無停電電源装置の更新工事を実施し、地域に安心をもたらす良質で高度な医療サービスの提供に努めました。

三田市が直接、経営を行う公営企業会計3事業の令和元年度決算をお知らせします。
※いずれの事業でも、資本的収支で赤字となりましたが、内部留保資金(減価償却費など現金支出を伴わない費用計上によって生じた資金)で不足額を補っています。

企業会計

三田市に1年間どのくらいのお金が入って、どのくらいのお金が使われたのかを知っていますか？
三田市のお財布事情は皆さんの生活に深く関わっています。5年後、10年後のまちづくりに必要なお金について、みんなで一緒に考えてみましょう。
問い合わせ：財政課(559-5018 FAX563-1366)
※決算の詳細は、市ホームページや財政課窓口でご覧いただけます。



▲元年度決算見込み概要の詳細について